

大分学習療法だより 自主上映会特集号-Ⅲ



2015年10月24日(土)と12月5日(土)、「僕がジョンと呼ばれるまで」の自主上映会がそれぞれ大分市のコンパルホールと中津市の中津文化会館で開催されました。本号はその特集号として、当日の様子と実行委員の思いなどをお伝えします。



大分市の上映会場 コンパルホール

10月24日



上映後、教材に興味深々の参加者

上映後、新規導入事業所が続々と！

【大分・臼杵地区】

上映会当日、午前9時30分、実行委員が会場に集合し受付準備が始められました。午前中に1回、午後から3回の上映で目標1,000名を目指し上映開始。結果は450名でしたが、後日導入希望の事業所が大分市で2ヶ所、別府市で1ヶ所決定しました。

中津で全国一の記録達成！1日の集客1,300名！

【中津・宇佐地区】

当日は朝から雲一つない快晴、気温も例年になく暖かく絶好の上映会日和となりました。チケットの販売枚数は、すでに1,500枚を超えていましたが、本当に来場していただけるのか不安がつる実行委員。1回目800名、2回目500名と何と2回の上映で1,300名もの方々にご覧いただきました！



1日2回の上映で1,300名ものお客様にご覧いただきました！

12月5日



中津文化会館の入口に置かれたウェルカムボード



入場者で混み合う受付(中津)



アンケート集計をするスタッフ(中津)



上映会終了後、ロビーの様子(中津)



アンケートを記入する来場者(大分)

楽しかったこと

- ★ 試写会や上映会後に「いい映画だった」の言葉が多く聞かれたこと。
そのようなことに関わることが楽しかった。(いずみの園 岩崎)
- ★ アンケートの集計時、「とてもよかった」「よかった」という感想が多くて楽しかったです。(いずみの園 原田)
- ★ 実行委員の方々や上映会に来られた方々と時間を共有できたことでとても楽しく過ごすことができました。(聖心園 高橋)
- ★ チケットのお願いや販売でいろんな事業所に伺うことができ、見学などもさせていただいたこと。(グランドホーム古国府 首藤)
- ★ 広報活動を通じて、行ったことのない施設に訪問出来たこと。(四季の郷DS 疋田)
- ★ 上映当日に職場のOBに出会えたことや、映画を見た後に「見てよかった」等の言葉をいただいたこと。(いずみの園 谷口)
- ★ 試写会から本上映まで、他施設の方々との交流ができて、とても有意義な時間をもてたこと。(和光園 実行委員)
- ★ 皆で一つの事を成し遂げる事で生まれた絆は、今後の施設の力となると思えたこと。(和光園 実行委員)
- ★ 上映会のご案内に各事業所をまわり、現在の学習療法の取り組み、利用者様の変化について直接お話する機会を持てたこと。(和光園 実行委員)

驚いたこと

- ★ 1, 500枚ものチケットを販売したこと。いろんな方の協力を得ており、いろんな場面で「僕ジョン」の話があり、映画が浸透していると感じたこと。
(いずみの園 谷口)
- ★ チケットの売り上げ枚数もですが、当日見に来て下さった方が多かったことと、販売に関わって頂いた方々の人脈の広さにもとても驚きました。
(いずみの園 原田)
- ★ 大分県の福祉保健部の審議官が観に来られていたこと。 (聖心園 高橋)
- ★ 映画を観ていただいた事業所さんから、もっと学習療法を知りたいので社内研修で講演してほしいと依頼を受けたこと。 (グラントホーム古国府 首藤)
- ★ 人権講師団が数名来ていただいたこと。お誘いする対象をあまり決めつけずに多方面に宣伝し、声かけしたほうが良いと思いました。 (四季の郷DS 疋田)
- ★ いずみの園さんの地域ネットワークの凄さに驚きました。 (和光園 吹田)
- ★ 映画の良さを理解して下さり、100枚単位で購入してくれる方に驚きました。
(和光園 実行委員)
- ★ 映画鑑賞に高齢者も多く、認知症や学習療法に興味を持たれている方の多さを目で見て実感したこと。
(和光園 実行委員)
- ★ 高齢者の方の関心が以外にも多かった事に驚きました。 (和光園 実行委員)
- ★ ご案内をする際に、すでに学習療法の取り組みを知っている方がいらしたこと。
(和光園 実行委員)



開場前のミーティングの様子(大分)



満席となった客席(中津)



研究会のPRビデオでスタート(大分)



開場前のミーティングの様子(中津)



上映会后、学習療法に興味を示す来場者(大分)



試写会の準備をする
スタッフ(中津)

1回目の上映はほぼ満席(中津)

感動したこと

- ★ お客様に帰り際「よかったよ」「ありがとう」「アンケートちゃんと書いたよ」「あなたは見れたの?」「ご苦労様」など声を掛けて頂いたこと。
(いずみの園 原田)
- ★ 上映後、学習療法に興味をもって教材や説明を受けている方がいたこと。
(聖心園 高橋)
- ★ 法人全体で学習療法を支援してくれたことと、チケット販売にも協力してくれたこと。
(和光園 実行委員)
- ★ 1回目の上映で、定員900人の会場がほぼ満席になったのを見た時。
(和光園 実行委員)
- ★ 試写会準備で大変だった時に、2名の介護職員がボランティアで来てくれたこと。
(和光園 実行委員)
- ★ 実行委員一人ひとりと地域の方とのネットワークが多くの感動を呼び込んだこと。
(和光園 実行委員)
- ★ お誘いした方から「いい映画を観させていただいた」「とても感動しました」などと、感動のお言葉をたくさんいただいたこと。
(グランドホーム古国府 首藤)
- ★ 他施設の方が休みを取ってまで映画を見に来てくれたこと。
(和光園 実行委員)
- ★ 試写会、上映会と何度も足を運んでくださったケアマネさんが、担当の利用者様に置き換えて、「私の利用者さんもこんな風になるかも?」と夢を膨らませていた姿に感動しました。
(和光園 実行委員)
- ★ アンケートに、「これからは、明るい気持ちで介護に向き合いたい」という意見が多くあったことに感動しました。
(和光園 実行委員)

反省すべき点

- ① お客さんから、近くにコンビニはないか聞かれました。だれでも答えられるようにしていませんでした。
- ② もっともっと出来ることはあったのかと自己反省しています。
- ③ 自施設の職員や地域の研究会の会員さんなどの力を十分に活用することができなかった。
- ④ 販売枚数が多かった為、座れないお客さんがいたらどうしようと、1回目の上映開始までヒヤヒヤでした。
- ⑤ 試写会後の動きが悪かった。
- ⑥ チケット販売に消極的であったことに反省です。
- ⑦ 受付をさせて頂いたのですが、開場1時間以上も前にみえられたお客様がホールで待って頂いたのが心苦しかった。
- ⑧ お客様の入退場の誘導でスタッフ間の連携ができていなく課題となった。

その対策

- ① 会場の周辺地図のようなものを受付に準備しておけばよかったと思った。
- ② 例えば、自治会に依頼し、回覧版で案内してもらうなど。
- ③ 他の方々をお誘いするには、まず身内からを痛感しました。
- ④ どの時間帯の上映会に参加するか、チケット販売時に把握できるようにしておいたら良かったと思う。
- ⑤ 試写会の感動が残っているうちに動くことが大事だと思う。
- ⑥ もう少し積極的に啓発活動をして伝達して行けたらと思う。
- ⑦ 早く来られたお客様への配慮。待合スペースの確保や学習療法に関する展示または相談コーナーを設けるなど。
- ⑧ 入退場時に考えられるケースについて他のスタッフと情報を共有する。



試写会も満席でした(宇佐)



上映を待つ来場者(大分)



上映会后、退場する方々を迎えるスタッフ(中津)



試写会でのミーティングの様子(宇佐)



地元ケーブルテレビ
で上映会を告知(大分)



試写会にご来場の皆様(中津)



900名収容の席がほぼ満席に(中津)

成長したと思うこと

- ★ 学生をかなり動員できたことは、今の自分のやっていることに少し自信がつかまりました。
(いずみの園 岩崎)
- ★ 普段の業務ではわからない、上司の人脈の広さと地域の方々との交流を知ることができたこと。自分が働いている施設の地域における位置づけなど、見直すきっかけができました。
(いずみの園 原田)
- ★ 目標数には届かなかったが、実施できたことは一歩前進と感じています。また、何もしなければ変化もなく、一歩踏み出したことで次に繋がる力を得たと感じています。
(聖心園 高橋)
- ★ 成長したと言えるのか、自分だけの力には限界があることを改めて知らされた取り組みだったことに気づかされた。
(グラントホーム古国府 首藤)
- ★ 集客の大変さを知ったことで、イベントにおける協力体制の大切さを知った。
(和光園 実行委員)
- ★ 今回の上映会における成功体験は、今後どのような企画に関しても活かせる体験となった。
(和光園 実行委員)
- ★ 上映に関わる人々との交流のおかげで、少し積極性が身についてきたように思います。
(和光園 実行委員)
- ★ 他施設との合同開催でお互いに協力していく事、気遣う心を再認識しました。
(和光園 実行委員)

● これから自主上映を計画される実行委員さんへ ●



お客様をお待ちする受付スタッフ(中津)

【チケット依頼について】

- ◎ チケットの価格が安かったのも、学生さんへの働きかけでさらに盛り上がるのではないかと思います。
今回は近くにありませんでしたが、専門学校、大学の学生さんなどをターゲットに！
- ◎ 郵送でのご案内よりも、出向いての対応の方がチケットは確実に売れます。

【広報について】

- ◎ 事業形態が違う他の事業所との連携で集客幅は広がるのではないのでしょうか。
- ◎ ポスター(大)の枚数が足りなかった。
- ◎ 今後の介護職員の人材確保を考えた時、学生を積極的に招待(無料)した方が良い。
- ◎ この映画を心待ちにしている人は必ず居ると思うので、そういう方まで情報を伝える為にはもっと動くこと、マスコミをうまく利用することが必要。
- ◎ くもん塾の先生方の申込が多かった。これは全県の会合などで告知していただいたことが奏功しました。このことから、もっと多くの団体(自治会・民生委員・商工会等)の全体会合を利用すると集客につながる。
- ◎ 学習者のご家族様にも見て頂けるようなアプローチを1度ではなく、さりげなく何度かした方が良いと思われます。



開場入口に置かれたウェルカムボード(中津)



地元ケーブルテレビに出演(大分)



高齢者大学で学習療法を紹介(日田)

【実行委員について】

- ◎ 自分たちが動いたほど協力者を多く見つけることができる。そのためには、日頃の地域活動が大事だと思う。
- ◎ 事業所内部での委員会を含む営業戦略会議を週単位で行った方が意識の統一が図れると思う。

● これから自主上映を計画される実行委員さんへ ●

【上映会を終えて】

- ◎ 取り組んだプロセスと成果（上映会参加者数）が一致しない事もあるかと思います。根気強く継続した取組が重要だと思います。
- ◎ 上映会が終了したから良いというものでなく、お互いに労をねぎらうことまた感動したことについて語り合うことも大事だと思います。
- ◎ 上映会だけではなく、会場と時間の余裕があれば、学習療法の体験や紹介のブースを設置するとよいと思いました。



毎回恒例となった研究会後の懇親会(宇佐)



学習療法を紹介するパネル
(大分シンポジウムで)

【編集後記】

今年度の研究会活動の主たるテーマとしていた「僕がジョンと呼ばれるまで」の上映会。県内では一昨年、日田市から始まった上映会が試写会の会場も含めて、大分市、中津市、宇佐市で開催されました。特に中津市で開催された上映会では、午後からの2回上映で1,300名（チケット売上は1,500枚）ものご来場をいただきました。一日の観客数としては、全国でも初の快挙であり、大分のみならず他県の研究会からも注目されています。

中津・宇佐地区の実行委員の方々の結束と努力が実った結果です。この勢いは、必ず大分学習療法研究会の更なる発展につながるはずです。

緊急告知！

2/21(日)臼杵市で上映決定！

期日:平成28年 2月21日(日)

場所:臼杵市民会館 大ホール

時間:13:00~16:00

内容:13:00から樋口了一ポストマンライブ
14:30から上映スタート

